

畜産草地研究所特別セミナー報告

当研究所では部長会セミナーとして、毎月第4木曜日
に開催される部長会議にあわせて所内若手研究者が研究
成果を所内公開で発表しております。今回は、連携協力を
テーマに所外からも講師をお招きし、一般公開の特別
セミナーとして6月21日に開催いたしました。

まず、当所のは場において実施している、野菜茶業研
究所との連携による堆肥等の高度利用に向けた技術開発
について畜産環境部市戸部長が報告しました。畜産環境
問題の解決には野菜生産など耕種側における畜産排泄物
製品利用の促進がカギとなります。つづいて、中央農業
総合研究センター関東東海総合研究部石田総合研究第3
チーム長からは、地域農業確立総合研究「関東地域にお
ける飼料イネの資源循環型生産・利用システムの確立」
の全体計画について紹介がありました。このプロジェクト
では、管内4県に営農試験地を設定して、それぞれに
おいて問題点の抽出、それを解決するための技術開発、
体系化、営農システムモデルの策定を行うこととなって

おり、畜産草地研究所も重要な役割を担っています。最
後に、株式会社フリーデン八日市屋社長より畜産企業か
ら見た飼料米への期待についてお話を頂きました。フリー
デンでは飼料米の利用に向けて全農、東京農大、大東
町と共同で取り組みを始めていますが、畜産草地研究所
の参画も要望があり、共同研究の計画を策定するよう論
議しました。

専門分野では個々の研究を深化させる一方で、その分
野だけでは解決できない広範な問題が提起されておいま
す。このような問題を解決するためには異分野との連携
協力を進める必要があります、畜産草地研究所では積極的
に連携協力に取り組んでいます。

(企画調整部 研究調整官 古川 力)



セミナーで発表された
スライド

セミナー風景

